

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日

令和7年 11月20日

事業所名

こぼんはうすさくら 豊川教室

保護者等数(児童数) 21名

回収数 〇20.5件(割合97%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20件	1件			もう少し広いほうが良いと思う。	基準値より広いスペースを確保しているが、人数が多い日はスペースが十分とはいえないこともある。障害物を倉庫へ収納する等、必要に応じて広々とした環境作りを心がけていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19件			2件	適切だと思う。	人数や子どもの特性に配慮して人員配置を行っていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17件			4件		更なる構造化によるレイアウトを実施していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21件				いつもきれいで過ごしやすいと思う。	利用児童受け入れ後の清掃や必要に応じて環境整備の時間を設け、生活空間を清潔で心地よい環境に整えていく。
適 切	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21件				子どもの状況に応じて対応してくれていると思う。 SSTがあり、対人関係に必要なことを学べて良いと思う。 こどものことを考えてサポートしてくれている。	専門的支援実施計画書に基づき、引き続き特性に応じた支援を行っていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21件				できていると思う。	日頃から支援内容や活動プログラムについて職員間で意見交換しながら進めていく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21件				保護者の希望に応えてくれている。	引き続き定期的な面談や日々のサービス提供記録でのやり取りを通して保護者との連携を図り、支援計画を作成していく。

こ な 支 援 の 提 供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20件			1件	できていると思う。	支援計画書の支援項目は「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の各項目ごとに目標設定されており、その目標に対する具体的な支援内容も計画書に設定されている。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21件				できていると思う。	支援計画に沿った支援の実施、及び3か月毎の見直しにより支援内容の精度を高めている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21件				週ごとにプログラムが変わり、色々なことが学べていると思う。	学習、工作、運動遊びなど様々なジャンルを週替わりで計画している。マンネリ化しないよう新しい活動も会議の場で意見交換していく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10件	3件	5件	3件	機会はないが、不満を感じてはいない。公園などに出かけた時、交流できていると思う。	他の子どもと活動する機会はなかなかないが、事業所外で活動する状況となった場合は、トラブルなく楽しく活動できるよう見守り、支援していく。
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21件				十分理解できた。	見学や体験利用または契約時に丁寧な説明を行っている。また契約後においても保護者から説明を求められればその都度対応し説明していく。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21件				出来ていると思う。	計画を立て、保護者へ説明を行い了承後支援を行っていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12件	2件	5件	2件	機会がもっとほしいです。子どもが拒否し、参加ができなかった。両親が参加できる機会があると良い。	家族参加の研修会の発信等できていないため、今後は連絡帳アプリや公式LINE等で情報提供できるよう機会を設けていく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21件				アプリで共有できていると思う。毎日様子を伝えてくれており、助かっている。	サービス提供記録や支援記録を毎日記録し、保護者へ公開している。引き続き丁寧に共通理解を図っていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21件				保護者の要望にも応えてきていると思う。家、学校、主治医の意見を情報共有できている。面談でアドバイスをもらえて勉強になっている。	定期的にモニタリング、支援計画の見直し等を行っている。利用児童または保護者の要望により、必要に応じて面談等実施していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21件				親身になってくれていると感じる。	利用児童及び保護者に寄り添いながら、日々の支援に努めていく。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11件	4件	3件	3件	1回あったが、少ないと思う。 交流会があればぜひ参加したい。	家族支援プログラムの機会が現状少なく、 必要に応じて保護者の意見も聞き取りを行いながら検討していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18件	1件		1件	できていると思う。 話が途中のまま担当の入れ替わりがあり、微妙だと思う。	定期的な保護者面談の実施や連絡帳アプリ、公式LINE等活用しながら、支援体制を整えていく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20件				できていると思う。	定期的な保護者との面談や、送迎時等で情報の共有を今後ともしていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19件	1件			分かりやすいと思う。 夏休みの活動内容、持ち物等分かりやすかった。	サービス提供記録や支援記録を毎日記録し、保護者へ公開している。合わせて、行事予定や必要事項についても丁寧に伝えていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19件	1件			適切に配慮されていると思う。	個人情報の使用については、必要最小限となるよう心掛けていく。個人情報の取り扱いに十分留意していく。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15件	3件		2件	緊急事態でも対応できると思う。 マニュアルは見たことがなく、分からない。	職員へは各種マニュアルに関する周知を職員会議や各種委員会等で周知し、必要な研修や訓練を実施している。また、必要に応じて保護者への周知も図っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15件		1件	4件	できていると思う。	安全計画に伴う必要な訓練や活動を、年間スケジュールに沿って実施している。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17件			3件	できていると思う。	出入口の施錠、教室内でのフラット状況及び避難経路等、今後とも児童の安全面に配慮していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17件	1件		2件	転んだ時、擦り傷がある時など伝えてくれている。	日頃から子どもの安全確保に努めている。 事故等発生した場合には、緊急時の連絡体制を構築し、迅速な対応を行っている。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20件				楽しく通所でできていると思う。 毎回楽しみにしている。 先生との信頼関係も感じられる。	子どもが安心感をもって楽しく利用できるような環境作りに努めていく。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20件				大好きな場所になっており、楽し嬉しく感じている。 利用日以外の日も行きたいと言っている。	引き続き安心できる場所となるよう工夫し、環境作りに努めていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20件				満足している。 支援には満足しているが、時間が短いと思う。	丁寧な支援やサービス提供記録の発信を行い、安心感、満足感を高められるよう努めていく。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表日

令和7年 11月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 豊川教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8件		94.5㎡と基準値より倍以上のスペースを確保している。	整理整頓に努め、より広いスペースを確保し、更なる楽しい空間を構築していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8件		児童2人に職員1人は配置している。	外出イベント時等、人数配置を要検討したい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8件		絵カード、写真、記号、ユニバーサルデザインやピクトグラムのイラストを用いて、構造化された環境になっている。	日々職員間で話し合い、より良い教室を目指していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8件		利用児童受け入れ後の清掃や必要に応じて環境整備の時間を設け、生活空間の清潔で心地よい環境づくりを行っている。	継続実施していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7件	1件	切り替え場所として相談室や職員室も活用し、必要に応じて個別活動も行っている。	相談室以外に個別の部屋があると好ましい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7件	1件	毎週末に話し合う機会を設けている。	ミーティングや職員会議等で業務改善提案がなされている。しかし、広く職員が参画している状況ではなく、管理者主導でPDCAサイクルが回っているように感じる。全職員が参画できる運営・組織体制が必要だと思う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8件		週間ミーティングや職員会議等で保護者向け評価表の結果を検討し、業務改善に繋げている。	保護者からのアンケートを真摯に受け止め、改善できることは実施していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8件		週間ミーティングや職員会議等で職員の意見を把握している。その結果については業務用連絡LINEにてその都度共有を図り、業務改善に繋げている。	改善起案があれば出来る限り業務改善に繋げている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5件	3件	当教室の課題点。	第三者による外部評価は受けていない。今後必要が生じた場合はその都度検討する。

適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6件	2件	年間研修計画を立てて、2～3カ月に1回施設内研修を実施している。また必要に応じて外部研修を受講している。	人員の問題があり、実施する機会が少なかった。今後は研修等率先して参加していきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8件		支援プログラムとして、作業療法士が利用児個々に専門的支援実施計画書を作成し、連絡帳アプリ上で公表している。	継続して実施していく。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7件	1件	一連の流れにより作成済。	保護者ニーズについては、定期的な面談や公認JNE等により課題を把握・分析した上で計画作成を行っている。個々の子どもに対しては適切なアセスメントを行う十分な時間が確保されていないため課題となっている。そのため、保護者ニーズが優先されがちとなっていないか懸念を感じる。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8件		計画案を児発管が作成し、その案をもとに支援に関わる職員を構成メンバーとして支援会議を開催、計画を作成している。	今後も質の高い支援計画を目指し、職員間で意見交換を実施し、話し合っていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8件		支援会議録を回覧、または職員業務連絡用LINE等で共有し、計画に沿った支援が実施されている。	継続して実施していく。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8件		標準化されたフォーマルなアセスメントシートを用いて、日常的な支援時や家族面談等で確認しながら、定期的な見直しをしている。	継続して実施していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8件		支援計画書の支援項目は「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の各項目ごとに目標設定されており、その目標に対する具体的な支援内容も支援計画書に設定されている。	継続して実施していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7件	1件	月間活動プログラムの立案については、ミーティングや職員会議にて意見交換しながら立案している。子どもの意見としては、給めの会や帰りの会等で意見が出た時は会議に反映させ、プログラム立案の参考にしている。	中心となって立案、準備している職員の負担が大きいと感じる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8件		学習、工作、運動遊び等様々なジャンルを週替わりで計画している。また、マンネリ化しないよう新しい活動プログラムも会議の場で意見交換している。	他教室の様子、ネットからの情報を参考に実施していく。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8件		支援計画に基づき、子どもの状況に応じた支援を行っている。また必要に応じて個別支援にも取り組んでいる。	継続して実施していく。

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8件		朝礼にて支援内容や役割分担等の打ち合わせを行っている。また翌日に話し合い、職員間で共有している。	その場になかった職員にもその都度共有していくことを全職員で心がけるようにしていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8件		必要に応じて支援後ミーティングを行い、振り返りを行っている。	継続して実施していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8件		サービス提供記録や支援記録を毎日記録し、必要事項については保護者へ公開している。また、活動写真も添付し、安心感や満足感に繋げている。	継続して実施していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8件		6か月に1回はモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。また3か月毎に見直しの見直しする機会を設け、更なる質を高めて支援をしている。	継続して実施していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7件	1件	支援計画書の支援項目は「木入支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の各項目ごとに目標設定されており、その目標に対する具体的な支援内容も支援計画書に設定されている。	地域交流（学校）ができていない。当教室は基本遊びながらの活動が多い。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8件		様々な活動にて、子どもが自己選択、自己決定ができる場を提供できるよう工夫をしている。例えば外出先の選択や作品作り、遊びの内容等、物事を選択する機会を数多く提供し、自己決定力を高めるよう支援している。	今後も社会性を高める活動や経験を深めて行きたい。
関係機関や保護者	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8件		サービス担当者会議や関係機関との会議には、必ずしも児童館が参画ではなく、子どもの状況をよく理解した者が参画している。	常に情報共有し、誰もが参画できる体制を構築したい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6件	2件	担当者会議が行われている。	相談支援専門員が担当者会議に保育関係者にも参画を呼びかけて開催することもあるが、保健・医療機関や教育関係機関との連携実績はない。今後は連携支援体制を整えていく必要があると思う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8件		学校との情報共有や連絡調整等については、基本的には保護者を通して行っているが、緊急時や保護者からの連絡が来ない場合については学校との情報共有や連絡調整を適切に行っている。	送迎車別に各連絡網が把握できる携帯を持参し対応できる状況にある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8件		就学前に利用していた保育所等、児童発達支援事業所との情報共有や相互理解については、必要に応じて保護者の了承を得た上でやっている。	今後とも継続して努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7件	1件	当事業所は開所して約2年であるため、学校を卒業した利用児童の数が少ない。今後は対象児童に対して、学校卒業後の障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、保護者や相談支援事業所等と情報共有や連携を図りながら、必要に応じて支援していく。	ある一定期間保管し、情報共有に努めている。

31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6件	2件	地域の児童発達支援センターとの交流はないが、当本部のスーパーバイザーからの指示・指導は受けている。	地域の児童発達支援センターとの連携は図れていない。今後は利用児童及び保護者からの要望や関係機関との連携において必要に応じて検討する。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3件	5件	現状では出来ていない。	子ども同士のトラブルにならないよう配慮が必要となるため日常的な交流はできていないが、活動として児童館を利用することはある。その場合は楽しく活動できるよう職員が見守り支援を行っている。近隣の事業所と交流する機会があるとよい。
33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7件	1件	自立支援協議会に積極的に参加し、研修会や会合に参加している。また、依頼があれば研修会等のスタッフとして職員を派遣している。	現時点の課題であり、今後率先して参加していきたい。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8件		連絡帳アプリや公式LINEを活用し、子どもの活動状況を伝え合っている。また、発達状況や課題なども面談時や送迎時に共通理解を図っている。	継続して実施していく。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4件	4件	現状では出来ていない。	家族支援に関する研修会等について、家族参加の研修会の発信や研修会などの情報提供はできていないため、今後は連絡帳アプリや公式LINE等で情報提供できると良い。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8件		見学や体験利用、契約時に丁寧な説明を行っている。また利用契約後においても保護者から説明を求められればその都度対応し説明している。	継続して実施していく。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8件		支援計画作成前に保護者面談を実施し、意向確認を行っている。また子どもの意向確認については保護者から聞き取りを行っている。	継続して実施していく。
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8件		支援計画の説明、同意については送迎時の保護者自宅または事業所にて説明し、同意を得ている。	継続して実施していく。
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8件		モニタリング面談にて支援計画以外のことも聞き取りを行い、適切に助言や情報提供等の対応を行っている。	継続して実施していく。
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3件	5件	現状、ほとんど出来ていない。	父母の会や保護者会等の活動はしていない。今後は保護者の要望等により検討する。この夏に実施したが、目的とはかけ離れている。定期的な実施が必要と感じる。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8件		苦情解決の体制については、窓口を設けて、体制整備を行っている。また連絡帳アプリや公式LINEも活用し、苦情があった場合は迅速に対応できる体制を整備している。	継続して実施していく。

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6件	2件	定期通信の発行はしていないが、連絡帳アプリや公式LINE等を活用し、行事予定や活動概要を保護者へ発信している。	継続して実施していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8件		保護者には個人情報使用同意書を契約時に交わして、必要最小限の個人情報の使用に関する同意の手続きを行っている。また職員に対しては守秘義務誓約書の手続きを行い、個人情報の取り扱いには十分留意している。	事務所書庫にて毎時施錠の基保管している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8件		意思疎通が困難な場合は絵カードや写真等使用し、意思疎通や情報伝達のための配慮を行っている。保護者については現在配慮が必要な保護者がいないが、必要に応じて配慮する。	継続して実施していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	4件	4件	現状、出来ていない。	現在利用児童及び保護者のプライバシー問題もあり、事業所行事に地域住民を招待する等の事業は行っていないが、保護者や地域住民の要望があれば検討する。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8件		職員へは各種マニュアルに関する周知を会議や各種委員会等で周知し、必要な研修会や訓練を実施している。また必要に応じて保護者への周知も行っている。	継続して実施していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8件		BCPは策定済みで、非常災害に備え、必要な訓練も実施している。	継続して実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7件	1件	利用契約時にアセスメントを行い、状況確認を行っている。	個々の児童ファイルには記載し、事務所内にも掲示している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8件		利用契約時にアセスメントを行い、状況確認を行っている。アレルギーを確認し、症状が発症しないよう対応している。	事務所内に掲示している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8件		各分野における安全計画、研修、訓練などは年間計画を立てて実施している。また職員だけでなく、利用児童にも活動プログラムとして安全計画に伴う必要な訓練や活動を行っている。	継続して実施していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8件		家族との連携については緊急連絡リストを作成し、緊急時の連絡体制を構築している。また連絡帳アプリや公式LINEを活用することで安全計画に基づく取り組みの周知や緊急連絡等の対応も可能となっている。	継続して実施していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6件	2件	発生したら所定の記録用紙により記録し、その内容は業務用職員LINEまたはミーティング等で共有し、再発防止策をその都度検討している。	最近記録できていないことがある。都度共有、記録に努めたい。

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8件		虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会において検討し、年1～2回は実施し、議事録を記録して周知している。	継続して実施していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7件	1件	身体拘束適正化委員会等で組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し、了解を得ている。また必要に応じて支援計画書に記載している。	今後も継続して研修等で周知し、職員間で共有していく。